

6. 地産地消の推進に向けた重点的な取り組み

村内での販路開拓、6次産業化等、地産地消の推進に向けて効果的な事業を重点プロジェクトとして位置付けを行う。

1) 生産者が主体となった朝市の開催支援

現在、恩納村の生産者が出店することを基本に、おんなの駅『なかゆくい朝市』等の開催の動きがみられる。このような朝市への開催支援を行うことで、生産者と消費者、事業者が直接交流を行いながら、生産者の所得向上や新たなビジネスチャンスにつなげる。

2) 「サンゴの村」づくりと連動した恩納ブランドの発信

恩納村の風光明媚な自然環境を次世代に受け継いでいくために、本村では平成 30 年 7 月 21 日に「サンゴの村」宣言を行い、サンゴ礁保全再生活動にとどまらず、世界一サンゴに優しい村として社会活動、経済活動を行っていくことを村づくりの目標として掲げる。こうした動きと連動しながら、世界一サンゴに優しい村で生産された農水産物であることをPRし、恩納ブランドを高めていく各種活動を推進する。

3) ニーズに応じた集荷・出荷体制の構築

現在、村内の宿泊施設や飲食店での恩納村産農水産物の利用は水産物が中心となっており、農産物についてはわずかにみられる程度となっている。このため、事業所側のニーズの把握を行い、一次加工施設や冷凍保存等の必要な設備整備や生産者との生産調整等を行うことで、安定的な出荷体制の構築に取り組む。